

第七回

長唄浴衣会



会場 料亭旅館「豊福」 阪急 花隈駅より徒歩5分

日時 令和元年七月二十八日(日)十二時 開演 (開場 十二時三〇分)

料亭旅館「豊福」(2階広間)
〒650-0013
神戸市中央区花隈町23-18

阪急花隈駅東口を出て西へ。
最初の信号を渡ってすぐに北へ。
3目の角を西へ入り2軒目。
〈角のリパーク(駐車場)が曲がる目印〉

(連絡先) 杵屋佐次円(きねやさじまる)

sajimaro.kineya@gmail.com

<http://sajimaro.main.jp/>

《お稽古場》

☆神戸教室 元町商店街 あられ屋「花見屋」2F

☆加古川教室 JR加古川駅南西徒歩2分

アコヤ楽器 2軒隣 篠原町公会堂 2階和室

主催／音子の会 kai

加古川音子の会
kakogawa onoko no kai

指導／杵屋佐次円

番組

唄

三絃

三絃主奏曲

一、春

興

有志一同

四世杵屋佐吉作曲

一、雪

花

杵屋佐喜之

辰寿 瓜美

一、七

福

神

杵屋佐喜之

柳 咲実

一、越

後

獅子

杵屋佐喜之

加古川音子の会
脇村 道代

作曲 野田嘉章
構成 七世杵屋佐吉
三絃主奏曲

一、三

絃 協奏曲

低音杵屋佐吉

有志一同

一、都

風

流

杵屋佐喜之

村田 舞子

一、小

鍛

冶

杵屋佐喜之

千田 英子

一、越

後

獅子

杵屋佐喜之

石田 静香

四世杵屋佐吉作曲

芙蓉曲三曲

一、鈴蛇索

鹿の山

時目

雨傘子

清澤 直子
(低音) 杵屋佐吉

一、新

曲

浦島

杵屋佐喜之

明治 智美

一、四

季

の山姥

杵屋佐喜之

曹我部美樹

一、鞍

馬

山

杵屋佐喜之

田中 祐一
(上調子) 杵屋佐吉

三絃主奏曲

一、みぞれ

降る

夜

車

杵屋佐次内
杵屋佐吉

千穂楽

賛助出演

長唄佐門会 家元

七世

杵屋佐吉 (URL www.samonkai.com)

昭和二十八年、五世佐吉の次男として東京に生まれる。玉川学園高等部卒業後、曾祖母の名、佐喜を襲名。

二十三歳の時、イタリアで三年ごとに開かれる演劇祭

(インコントラツイオーネ)に「千手魚神太鼓」の作曲、演奏で参加。

二十四歳から稽古場のある静岡県島田市の帯祭で第二街屋台を受け持つ。

平成四年より国立劇場小劇場に於いて、長唄小曲(芙蓉曲研究会)と

代々杵屋佐吉の作曲作品発表会である(杵屋佐吉の会)を主催。
めずらしい三味線のコレクターでもあり、楽器としての三味線の研究も心掛けている。

一般社団法人長唄協会 副会長、現代邦楽作曲家連盟 理事
和楽器の未来を創る研究会 理事

重要無形文化財「長唄」総合認定保持者、樂明會同人

杵屋佐喜之

杵屋佐喜勝師の取り立てにより、昭和五十五年

五世杵屋佐吉御家元より流名をゆるされる。

関西を拠点として、舞踊会・演奏会・歌舞伎公演に多数出演。

荻江寿友師より、平成元年、流名をゆるされ、荻江節の舞台を勤める。

奥深い邦楽の世界で、現在も研鑽しつつ取り組んでいる。